

2009年コリアンな街

世代と民族を結ぶワークショップ

かわさきの南 工場地帯の近く おおひん地区。ここ私たちの街は、額に汗して働くものの街です。朝鮮半島、沖縄、北海道、九州、東北から仕事を求めてやってきた人たちが、日本の「発展」、川崎の「発展」をたいへんな労働で支えてきました。

日本鋼管や浅野セメント（当時）などの工場の下請け、孫受けで働く人たちによって、私たちの街はいつも活気に満ちていました。商店街がにぎわい、職人さんたちの文化、それぞれの出身地の民族文化、地域文化が満ち溢れた地域でした。

反面、公害をはじめとした住環境の問題など、社会矛盾を抱えた地域でもあります。

戦争の時代に、軍需産業の働き手として、朝鮮半島からもたくさんの人たちが働きに来て、関東では指折りの在日コリアン集住地を形成しました。名所旧跡はないけれど、密度の濃い現代史を刻み、在日コリアンの生活息吹が感じられる街です。

働きづめに働いて川崎の発展を支えてきたこの街の人たちが、今、高齢期を迎えています。とりわけ、在日コリアン高齢者は、厳しい差別の中、辛酸を嘗め尽くす生活を送り、今、私たちの街でどっこい暮らしています

夏休みの期間を利用して、在日高齢者との交流と学びの場を以下、計画しました。日ごろ学ぶことのできない課題に触れてみませんか？

8月4日(火) 午前9時～午後3時

プログラム

午前9時半～11時	地域を知る。街を歩く 街を歩き、その生活史をふりかえり、民族差別を克服する地域の取り組みを学びます。
11時～1時	ウリハッキョ見学と昼食会 在日一世の識字(ウリハッキョ<私たちの学校>) 学びあいの場に参加します。 そして、昼食をいっしょに食べます。
1時～3時	在日高齢者を囲んで 生活史を学ぶ 在日高齢者から、戦中戦後の生活史の語りを聞きます。
3時～4時	まとめ ティータイム交流会

参加費 800円 (昼食代・ティータイム代)

定員 15名

申し込み方法 お名前と所属 連絡方法を記入し、EメールかFAXにてお申し込みください。

参加費は当日で結構です。 Eメール miura@seikyu-sha.com

FAX 044-287-2045

主催 かわさきのハルモニ・ハラボチと結ぶ2000人ネットワーク 090-9837-2623

申し込みの方は、川崎在日コリアン生活文化資料館インターネットサイト

(<http://www.halmoni-haraboji.net/>) の「ハルモニ、ハラボチのすむまち」(全16ページ)及び資料室「かわさきのハルモニ、ハラボチ」(全17ページ)を事前学習してください。